

飯島賢二の『恐縮ですが...一言コラム』

第 311 回 悩める経営者に贈る手紙（自分自身も含め...）

2009.5.10

先般ある中小企業経営者から、真剣にご相談があった。あまりにも経営環境の変化が激しすぎて、正直、何をやったらいいか、判らない。そんな経営者に贈った手紙をご紹介します。もちろん、私自身の自戒の念を込めて...である。

【前文略】

赤字会社の共通点は、「無方針」と「放任」です。
会社にとって望ましいのは、失敗や困難がないということではなく、
決してそれに負けないということであると思います。
失敗を成功以上に活かせるリーダーこそ、真のリーダーといえるでしょう。
そのような意味では今こそ、あなたにとって、人生最大のチャンスです。

人生、逃げ場なしです。
ニコニコ顔で命懸け、やるなら決めよ！決めたら迷うな！！と言うことです。
優柔不断は誤った決定より尚、悪いと思ってください。
切に思い、絶えずしてやり続ければ、必ずや功を成す...多くの偉大な先人達が残してくれた、
貴重な教訓があります。
「これは難しい」と思ったら、その瞬間に、脳は金縛りにあいます。困難は、必ず解決策をつれてくるもの
です。出来ない理由を並べて、成功した人はいないはずで
す。経営者は、もう駄目だ...というときが仕事の始まりです。
今、正に、あなたの出番です。

経営者として、自分のプランを自信を持って、思いっきりスタッフに伝えてください。
そして部下の魂に火をつけて、その全人格を導いてやってください。
「財務諸表」とは、事業経営の結果として出来上がるものではなく、
社長の意思によって作り上げるものです。
あなたの意思で、決算書を作り変えてください。

優れたリーダーの条件は、人が本気でついて来る...ということに他ならないでしょう。
そのためには喜んで自己犠牲を払う用意があるか否か、これが経営者には求められます。
そんな経営者の姿勢を、スタッフ全員に見せてやってください。
今までにない、チェンジしたあなたを魅せることによって、
スタッフに大きな共鳴と感動を与えてやってください。

この困難時に、何人のスタッフが、本気であなたについてくるか？ だから、あなたにとって、人生最大の
のチャンスと思ってください。あなた一人で出来ることは、極、わずかです。
如何にあなた自身のモチベーションをあげるか、自己統制の術を学んでください。

「自ら信ずる正義のために、不利はおろか、時には死をも辞せぬことが、人間の貴い道徳であり、
人格の権威である」とは、陽明学者・安岡正篤氏の言葉です。恐ろしいほどの覚悟と揺るがぬ信念、
その熱き思いを、一人でも多くのスタッフに感染させることです。 【以下文章略】

「指導者は口ウソクの火、周りを明るく照らすが、自分の身を滅らし、燃えつくす」今、経営者
に求められているのは、厳しいまでの覚悟である。結果、従業員やその家族、お客様が豊かにな
ればそれで本望、経営者冥利に尽きると言うものかもしれない。